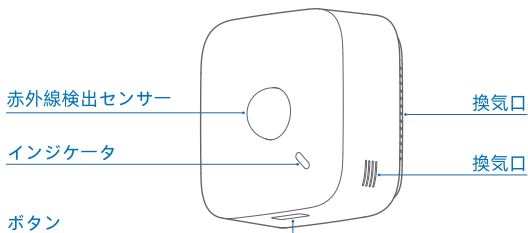


はじめに

- 梱包リスト：モーションセンサーMS1 / MS1P (x1)
Micro USBケーブル (x1) ネジ (x2)
ユーザーガイド (x1)
プラグ着脱可能端子台コネクタ (MS1P) (x1)
- 製品機能：人や動物の動きを監視



技術仕様

製品: UbiBotモーションセンサーMS1/MS1P

検出距離: 12メートル

検出角度: 垂直40度、水平105度

電源: Micro USB/POE電源 */AC電源 *

動作温度MS1: -10 °Cから50 °C, 結露しないこと

動作湿度MS1: ≤90% RH, 結露しないこと

動作温度MS1P: 0 °Cから50 °C

動作湿度MS1P: ≤70% RH

オペレーションシステム: Android/iOS

ネットワーク: 2.4GHz WiFi/RJ45イーサネット *

ワイヤレス規格: IEEE 802.11b/g/n

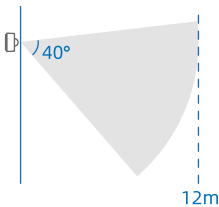
POE標準: IEEE 802.3-2005 *

Bluetooth: Bluetooth 4.2 クラシック BT & BLEをサポート

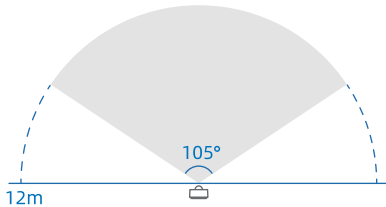
* アスタリスクの付いた文は、購入したモデルにより機能が異なります。

検出範囲

当社の製品は、垂直方向に40度、水平方向に105度で、検出距離が最大12メートルの焦電赤外線センサーを使用しています。



側面図



上面図

インジケータの状態と操作

電源のオンとオフ：デバイスは、電源が供給されると自動的にオンになり、電源がオフになると自動的にシャットダウンします。

- インジケータが緑色に点滅する場合は、動きを検出しています。
 - 動きが検出されない場合、インジケータは消えます。
 - インジケータが赤と青で交互に点滅する場合、デバイスは設定モードです。
 - インジケータが5秒間シアン色に点灯している場合、デバイスはデフォルト設定にリセットされています。
 - インジケータが常に赤の場合は、ネットワークエラーがあります。
 - インジケータが赤色に点滅する場合は、ハードウェアに問題があります。
-

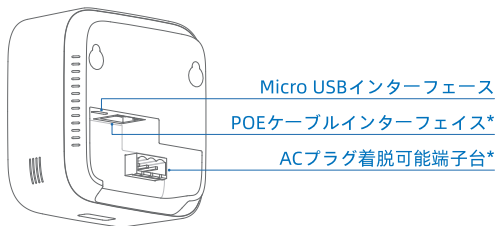
- ⌚ ボタンを約5秒押してネットモードに入ります。
- ⌚ デバイスをリセットには、ボタンを3回（急ぎ）押し続けます。

電源

- 電源: Micro USB (5V、2A)

POE電源* (7W)

AC電源* (110V-240V AC、50/60Hz)



* アスタリスクの付いた文は、購入したモデルにより機能が異なります。

アプリのインストール

オプション1:

左よりアプリをダウンロード www.ubibot.com/setup

オプション2:

App StoreまたはGoogle Playで「UbiBot」を検索してください。



ネットワーク設定

ステップ 1.

アプリを起動し、必要に応じて登録、ログインします。「+」をクリックしてデバイスを追加します。デバイスのQRコードをスキャンするか、シリアル番号を手動で入力します。

ステップ 2.

ネットモードに入ります。オン状態で ボタンを約5秒押して インジケータが赤と青で交互に点滅します。

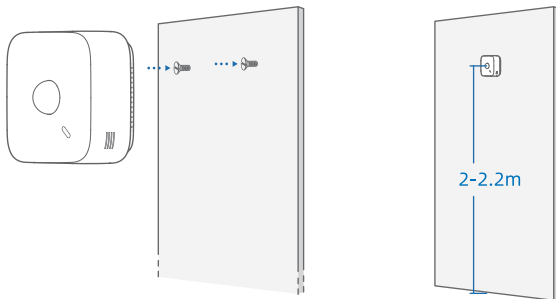
ステップ 3.

まずスマートフォンのBluetoothをオンにします。アプリの指示に従い、現在のWi-Fiパスワードを入力し、「次へ」をタップします。プログレスバーが完了すると設定が終了します。

 設定が失敗した場合、インジケータが赤と青で交互に点滅することを確認してください。Wi-Fiが2.4GHzで、パスワードが正しく入力されていることをご確認ください。

デバイスの設置

本製品は壁掛けタイプで、設置位置が床から2～2.2mの高さで最高の性能を発揮します。



注意

より良いモニタリング結果を得るには、デバイスを配置するときに次の点にご注意ください。

- ガラスのドアや窓の前に置かないでご注意ください。
- 木や背の高い低木など、揺れやすい大きな物の前に置かないでご注意ください。
- 高温または冷たい通気口または熱源の前に置かないでご注意ください。
- エアコン、冷蔵庫、ストーブなど、気温が変動しやすい場所には近づけないでご注意ください。



保証情報

このデバイスは、最初の購入日から最大1年間、材料および製造上の欠陥がないことを保証されます。

以下の状況は保証の対象外です：

- ① 保証期間終了後のトラブル。
- ② デバイスの不適切な取り扱い、または指示に従わない操作に起因する誤動作または損傷。
- ③ 推奨温湿度範囲外での使用による損傷、水との接触による損傷（水蒸気など制御不能な水の侵入を含む）、デバイスやケーブル、コネクタに過度の力が加わることによる損傷。
- ④ 素材の自然摩耗や経年変化。
- ⑤ 製品を許可無く取り外したことによる故障または損傷。
- ⑥ 不可抗力によって起きた 障害または損傷
- ⑦ 製品の設計、技術、製造、品質などに起因しないその他の障害または損傷。